

2008 年度第5回理事会議事要約

日 時 平成 21 年 1 月 16 日(金) 15:00~17:30
場 所 東京理科大 森戸記念館 第一会議室
出席者 新井民夫会長ほか、書面参加3名を含め 21 名の理事

議 事1 前回議事録確認の件

・11 月 21 日開催の第 4 回理事会議事録を承認した。

議 事2 前回総務・財務委員会の件

・12 月 19 日開催の第 4 回総務・財務委員会議事録を了承した。

議 事3 各部会委員会報告の件

1 事業部会

1) 次の6専門委員会の設置期間延長を承認した。

・総合生産システム ・成形プラスチック歯車研究 ・超精密位置決め ・型模型
・ナノ精度機械加工 ・高速高能率切削加工

2) 下記の報告があり了承した。

①第 333 回講習会の実施結果および第 334,335 回講習会の準備状況

企業からの参加が抑制される状況にあるが、(支部で言えば) 商議員のような方の協力を要請することの提案があった。

②2009 年度春季大会(中央大学)の準備状況

・講演申し込み件数 556 件, キーノートスピーチ 19 件, シンポジウム 1 件, 卒業研究発表会応募 47 件
・プログラム等をホームページおよび会誌 2 号に掲載
・大会参加申込み: 1/16 開始, 2/20 締切
・周年関係: 記念シンポジウム開催(3/12 午前), ポスター展示応募数 18 学科(15 校)
・最終実行委員会を 3/6 に開催予定

③2009 年度秋季大会(神戸大)の準備状況

④2010 年春季大会(埼玉大学)準備状況(開催予定時期; 3/16(火)~3/18(木))

⑤国際交流委員会関連

・ASPEN2009; 投稿受付参加登録に関し旅行会社との間で交渉が進捗している。また, 更新されたCFPが紹介された。

2 出版部会

記念特集号の発行に関する協力に対し感謝の意が表されたのち以下の報告があり, 了承した。

①電子校閲システム WG の活動状況 ②編集委員会、校閲委員会の開催予定

③PE 誌投稿校閲に関する状況報告; Elsevier とよくつめて解を出すこととのコメントがあった。

④記念特集号を Web 搭載する件; 広報情報部会とも話し合っって早急に実施することとなった。

3 広報・情報部会

以下の報告があり, 了承した。

①バナー広告の契約状況 ②PE 誌(Vol.33, No.2) 広告原稿について

③Web 用語集作成進捗状況 ④新ルールによる第 1 回の一斉メール配信を予定(1/26)

⑤電子校閲システム導入の広報チラシ, ポスターの作成(春季大会で配布)

4 周年事業実行委員会

・75 周年記念事業各実行委員会の予算執行状況および次年度予算について報告があり了承した。

議 事4 2008 年度決算見込み、2009 年度予算の件 (資料「理 '08-5-4」)

・2008 年度一般会計決算見込みを確認し, 2009 年度一般会計予算案を承認した。

・「資金平準化引当」資産の他の3つの特定資産への組換えについて承認した。

・文部科学省提出資料「平成 21 年度事業計画および予算書」を承認した。

議 事5 次期役員異動の件(資料「理 '08-5-5」)

・厨川理事の辞任を承認, あわせて後任理事に高 偉 氏(東北大学)を選任した。

議 事6 2009 年度認定フェロー選考の件

・フェロー選考委員会委員長より 2009 年度認定候補として 16 名の提案があり, 承認した。

・次年度から実施すべき「フェロー推薦基準及び選考方法に関する内規」の一部改訂が提案され, 提案通り承認した。

議 事7 2009 年度春季大会および式典の件

・2009 年度春季大会期間中の会議, 式典等の予定が事務局より提示され, これを了承した。

・総会, 式典, 懇親会について式次第案が提示され, 一部修正の上了承した。大会実行委員会に伝える。

・担当役員には諸会議, 式典への出席が要請された。

議 事8 2009 年度理事会等日程の件

・次年度の理事会, 総務財務委員会、春秋大会の日程案が提示され, 了承した。

議 事9 その他

1 贈賞等案件の修正の件

- ・先の理事会で承認された感謝状、功労賞について候補者に異動があったため、修正案が出され承認した。
- 2 会員状況の件
- ・12月入会者:正会員7名,学生会員(Web級含む)15名,賛助会員1社を承認し,退会者:正会員4名,学生会員2名を確認した。
 - ・賛助会員退会の近況および学協会の高齢会員への会費特典の状況が報告され意見が交わされた。その結果、次の2点について早急に検討実施することとなった。
 - ①退会希望賛助会員に対しては文書で「休会」の勧めを行い本会とのつながりの維持をお願いする。但し、休会期間は1年更新で最長2年までとし、あくまで特別措置として実施する。
 - ②TF-6(会員増強)において、年配会員の退会を抑制するための具体策をコスト面も勘案して検討し次回理事会までに提案する。
- 3 TFの件
- ・公益認定TFから、通常総会での議案「新法人形態について」の案文が提案され、承認した。公益法人を目指すことが判るように副題をつけることとした。
 - ・アフィリエイトTFから、応募促進の要請がなされた。
 - ・会員増強TFからの資料が紹介(再提出)された。
- 4 その他
- ・新井会長の「新年メッセージ」を全会員にメール配信された。
 - ・日本機械学会より医工ものづくりコモンズ設立について提案がある旨、青山副会長より説明があった。